

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

| | | | |
|------------|---|-----|---------|
| 事業所名称 | アメリカンアカデミーあべの保育園 | | |
| 運営法人名称 | 株式会社 ほいくる | | |
| 福祉サービスの種別 | 小規模保育事業 | | |
| 代表者氏名 | 管理者 金城 聡 | | |
| 定員（利用人数） | 12 名 | | |
| 事業所所在地 | 〒 545-0051 大阪市阿倍野区旭町3-1-2 あべのステラ203 | | |
| 電話番号 | 06 - 6556 - 7587 | | |
| FAX番号 | 06 - 6556 - 7836 | | |
| ホームページアドレス | https://abeno-hoikuen.com/ | | |
| 電子メールアドレス | s-kinivo@hoikuru.jp | | |
| 事業開始年月日 | 平成31年4月1日 | | |
| 職員・従業員数※ | 正規 | 8 名 | 非正規 3 名 |
| 専門職員※ | 保育士 管理栄養士 精神保健福祉士 | | |
| 施設・設備の概要※ | [居室] | | |
| | [設備等] 保育室（0歳児、1歳児、2歳児） 調理室、幼児用トイレ、事務室、収納 | | |

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

| | |
|---------|-----|
| 受審回数 | 0 回 |
| 前回の受審時期 | 年度 |

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

| | |
|---------------------|---|
| 評価結果公表に関する事業所の同意の有無 | 有 |
|---------------------|---|

【理念・基本方針】

【保育理念】

暖かくゆとりのある関わりの中で、子ども一人一人の個性を大事にし、十分な愛情と擁護と子どもたちの主体的な遊びをもって、豊かな未来を作り出す「生きるチカラ」の基礎を育みます。

【保育方針】

○第二の家のような保育

子どもたちが楽しく学び、一緒に感じ、たくさん成長していける第二の家を目指します。子どもたちに愛情を注ぎ、その成長の喜びを分かち合える第二の家族となることを心がけています。

○毎日楽しめる保育

ケガのないように見守るだけではなく、「今日も楽しかった」と思ってもらえるような保育を目指します。

○仲間を大切にできる保育

友達と沢山触れ合える時間がある中で、仲間を大切にし、お互いを気づかい、支える優しさを大事にしていきます。

【保育目標】

・明るく元気な挨拶ができる子・友達と仲良く遊べる子・自然を大切にする子・思いやりを持てる子

【施設・事業所の特徴的な取組】

- ①クラス分けを行うことで、年齢にあった専門的な保育の提供を行っている
- ②園児の人数に対して職員の数が多く、また保護者との距離が近い
- ③ネイティブ講師による週一回の英語レッスンで、遊びを通して英語や異文化に触れる
- ④野菜の栽培・収穫を通し、食への興味関心を育む

【評価機関情報】

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| 第三者評価機関名 | 一般社団法人ぱ・まる |
| 大阪府認証番号 | 270052 |
| 評価実施期間 | 令和5年8月1日～令和6年1月31日 |
| 評価決定年月日 | 令和6年1月31日 |
| 評価調査者（役割） | 26（運営管理委員） 2002C005（専門職委員） （ ） |

【総評】

◆評価機関総合コメント

ネイティブな英語に触れる機会を大切に、ヒアリングプログラムとリトミックの充実に力を入られています。園の理念で「いきるチカラ」の習得を目指されており、近隣公園を活用した自然とふれあい親しむ機会も拡充されています。子どもたちにとって、第2の家と感じてもらえる保育の展開を目指されています。

◆特に評価の高い点

【全体がチームとしての運営】

小規模保育事業であるため、おおよその状況や情報が常に共有できる環境にあり、課題や取り組むべき事についても、職員間の話し合いで、全員が同じ方向を向いた支援の提供となるよう取り組まれています。

【保護者に寄り添った支援】

保護者との情報交換・情報共有を大切にすることによって、個々の子どもと家庭の意向を踏まえた、保育の提供に努められています。

◆改善を求められる点

【目的の明確化】

計画や目標においての記述内容が主観的であり、客観的な評価が困難な状況です。必ずしも数値化する必要はありませんが、客観的に誰が評価しても、できたか、できなかったか、できなかった場合はどこまで進捗したかの判断が同じになる程度の、計画や目標設定の明確化が望まれます。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して6年目になりますが、今回初めて第三者評価に取り組む事が出来ました。自己評価を行うことで、日々の業務について振り返ることができ、訪問調査を通して園が提供していることへの具体的な課題に気がつくことができました。得られた課題を、保育者間で共有を行い、組織全体の質の向上に取り組んでいきたいと思っております。また今回、保護者からのリアルな評価について確認ができたのが良かったです。

◆第三者評価結果

・別紙「第三者評価結果」を参照

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

| | | 評価結果 |
|---------------------------------|--|------|
| Ⅰ-1 理念・基本方針 | | |
| Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | | |
| Ⅰ-1-(1)-① | 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a |
| (コメント) | ホームページ・パンフレット・入園のしおり等に記載があり明示されています。園見学時には丁寧な説明が行われており、具体的なイメージが保護者等にも伝わるよう努められています。 | |
| | | 評価結果 |
| Ⅰ-2 経営状況の把握 | | |
| Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | |
| Ⅰ-2-(1)-① | 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a |
| (コメント) | 地域ニーズや課題を踏まえた施設運営に努められています。利用者ニーズを踏まえた、経営課題への対策反映に留意されています。 | |
| Ⅰ-2-(1)-② | 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 | a |
| (コメント) | 法人会議等で経営状況の共有と検討が行われており、課題を踏まえた施設でできる事の実践に努められています。 | |
| | | 評価結果 |
| Ⅰ-3 事業計画の策定 | | |
| Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | |
| Ⅰ-3-(1)-① | 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | b |
| (コメント) | 法人で、事業としての中長期計画が策定されています。達成状況が客観的に評価可能な内容の拡充が望まれます。 | |
| Ⅰ-3-(1)-② | 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | b |
| (コメント) | 中長期計画を踏まえた、事業計画が策定されています。達成状況が客観的に評価可能な内容の拡充が望まれます。 | |

| | | |
|--------------------------|--|---|
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 | | |
| I-3-(2)-① | 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | b |
| (コメント) | 事業計画は、法人の中長期計画を踏まえ、職員間で共有し意見を反映した内容での作成に努められています。計画に対する職員全体への周知拡充が望まれます。 | |
| I-3-(2)-② | 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。 | b |
| (コメント) | 事業計画は、文書や口頭で随時保護者等へ周知されています。保護者等にわかりやすく伝える工夫の拡充が望まれます。 | |

| | | 評価結果 |
|------------------------------------|--|------|
| I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 | | |
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | | |
| I-4-(1)-① | 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | b |
| (コメント) | 職員個々のスキルや状況に応じた、資質の向上に繋がられるアドバイスを行えるよう努められています。育成・資質向上に向けた課題の評価分析拡充が望まれます。 | |
| I-4-(1)-② | 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | b |
| (コメント) | 課題については、職員間で話し合う等解決に向けた取り組みが行われています。課題に対する取り組みや改善策についての実施状況や評価を行う仕組みの整備拡充が望まれます。 | |

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

| | | 評価結果 |
|------------------------------|---|------|
| Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ | | |
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。 | | |
| Ⅱ-1-(1)-① | 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | b |
| (コメント) | 法人として責任のよりどころが明確にされています。有事の際の権限委譲や責任範囲等の明確化が望まれます。 | |
| Ⅱ-1-(1)-② | 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | b |
| (コメント) | 外部研修を含め、適切な法令遵守に繋がられるよう努められています。職員全体への定期的なコンプライアンス周知拡充が望まれます。 | |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | |
| Ⅱ-1-(2)-① | 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | a |
| (コメント) | 職員と共に、保育の振り返りや検討を行うことによって、また、課題が発見された場合は一緒に話し合うことにより、質の向上へと繋がられるよう努められています。 | |

| | | |
|------------|---|---|
| II-1-(2)-② | 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。 | b |
| (コメント) | 主任を中心に向上に向けた取り組みの話し合いや指示が行われています。職員全体への継続的な取り組みの拡充が望まれます。 | |

| | |
|--|-------------|
| | 評価結果 |
|--|-------------|

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

| | | |
|------------|---|---|
| II-2-(1)-① | 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | b |
| (コメント) | 中長期計画に基づく人材確保・育成に努められています。計画実現に向けた具体的な取り組みの拡充が望まれます。 | |
| II-2-(1)-② | 総合的な人事管理が行われている。 | b |
| (コメント) | 法人事業方針として、明確な職員像が示されています。職員自身もイメージしやすい、人事考課・キャリアアップ制度等についての明確化が望まれます。 | |

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

| | | |
|------------|--|---|
| II-2-(2)-① | 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 | a |
| (コメント) | 職員のワークライフバランスを踏まえた勤務体系となるよう配慮されています。職員が負担と感じたり、思い詰めたりしないよう状況の把握に留意されています。職員が働きやすく楽しい職場環境となるよう努められています。 | |

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

| | | |
|------------|---|---|
| II-2-(3)-① | 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | b |
| (コメント) | 年2回の職員面談が行われており、必要に応じた随時の面談も行われています。面談時には、課題や意向についても話し合われており、職員個々の資質向上に向けた話し合いの場となっています。設定する目標を、評価可能な客観的な内容とすることが望まれます。 | |
| II-2-(3)-② | 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | b |
| (コメント) | キャリアアップ研修や市主催の研修には積極的に参加されており、研修内容は園内で報告共有されています。教育・研修に対する、定期的な評価見直しの仕組み確立が望まれます。 | |
| II-2-(3)-③ | 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | b |
| (コメント) | 外部研修の情報は、随時提供されており、職員希望を踏まえた参加が行われています。外部研修に参加する職員が偏らないよう調整しながらも、必要な研修受講が出来るよう配慮されています。職層・テーマ等、体系化した研修体系の確立が望まれます。 | |

| | | |
|--|---|---|
| II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | | |
| II-2-(4)-① | 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | b |
| (コメント) | インターンシップ等含めた実習への取組拡充が望まれます。 | |

| | | 評価結果 |
|-----------------------------------|---|------|
| II-3 運営の透明性の確保 | | |
| II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | | |
| II-3-(1)-① | 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | b |
| (コメント) | 法人の理念・基本方針・ビジョン等は、ホームページ等で公表されています。保護者等からの意見等を踏まえた取り組み等、施設の中身が見える公開の拡充が望まれます。 | |
| II-3-(1)-② | 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | b |
| (コメント) | 法人規程に基づく適切な取引に努められています。職員全体への周知と取り組み拡充が望まれます。 | |

| | | 評価結果 |
|-------------------------------|--|------|
| II-4 地域との交流、地域貢献 | | |
| II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | |
| II-4-(1)-① | 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。 | b |
| (コメント) | 地域の祭りや催事への参加、連携園との交流等が行われています。地域情報は保護者等に告知されています。地域の社会資源の把握と、その保護者等に向けた告知拡充が望まれます。 | |
| II-4-(1)-② | ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | b |
| (コメント) | ボランティアに関するマニュアルや体制の整備拡充が望まれます。 | |
| II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | | |
| II-4-(2)-① | 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | b |
| (コメント) | 個々の子どもの課題や保護者等からの相談には、必要に応じて適切な社会資源等を活用できるよう努められています。全体がわかりやすいリスト化の拡充が望まれます。 | |
| II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | |
| II-4-(3)-① | 地域福祉のニーズ等を把握するための取組が行われている。 | b |
| (コメント) | 地域との交流や、見学者や保護者等からの情報分析によって、ニーズの把握に努められています。把握手段の拡充が望まれます。 | |

| | | |
|------------|--|---|
| II-4-(3)-② | 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 | b |
| (コメント) | 地域交流による地域貢献に参加されています。ニーズを踏まえた地域への還元活動拡充が望まれます。 | |

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| | | 評価結果 |
|---|--|------|
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | | |
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | |
| Ⅲ-1-(1)-① | 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。 | b |
| (コメント) | 子ども自身の思いや意向を尊重したかわり方となるよう配慮されています。無理強いや強制するのではなく、子どもの思いを受け止め、尊重する事によって、不当な権利制限とならないよう努められています。保護者等含めた、人権の尊重に関する周知拡充が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(1)-② | 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。 | b |
| (コメント) | 日々の保育の中で、第三者が見たときに違和感を感じるような場面とならない様、配慮されています。侵害事案発生時の対応方法等について、整備拡充が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 | | |
| Ⅲ-1-(2)-① | 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。 | a |
| (コメント) | 保育内容が伝わりやすい候補日から、見学希望者に見学日を決定頂いています。見学の際には、実際の保育内容を見て頂きながら、説明を行い、園の思いや考えが伝えられるよう努められています。説明資料等は、毎年内容が見直され、更新されています。 | |
| Ⅲ-1-(2)-② | 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。 | a |
| (コメント) | 利用終了後も随時、相談や訪問可能であることが、保護者等に伝えられています。引き継ぎにかかる様式や手順の整備拡充が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(2)-③ | 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | b |
| (コメント) | 利用終了後も随時、相談や訪問可能であることが、保護者等に伝えられています。引き継ぎにかかる様式や手順の整備拡充が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。 | | |
| Ⅲ-1-(3)-① | 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | b |
| (コメント) | 日々の送迎時等に、保護者等が相談や意見を言いやすい雰囲気となるよう配慮されています。定期的な仕組みとしての満足度把握と、分析・検討・活用の整備拡充が望まれます。 | |

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

| | | |
|-----------|--|---|
| Ⅲ-1-(4)-① | 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | b |
| (コメント) | 苦情解決の仕組みがあり、第三者委員も設置され、保護者等に周知されています。苦情に限定しない、意見等も含めた、園の中身が見える公表の拡充が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(4)-② | 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。 | b |
| (コメント) | 日々の送迎時等に、保護者等が相談や意見を言いやすい雰囲気となるよう配慮されています。苦情同様、仕組みや複数の相談先・相談手順が伝わりやすい、保護者等に向けた資料の作成が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(4)-③ | 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | b |
| (コメント) | 表出された相談や意見については、随時、検討し、対応が行われています。意見・相談に関する、マニュアルや手順の整備拡充・明示が望まれます。 | |

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

| | | |
|-----------|--|---|
| Ⅲ-1-(5)-① | 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | b |
| (コメント) | 事故防止マニュアルが策定されており、ヒヤリハット等リスク収集と検討の仕組みがあります。小規模保育事業であるため、事案は職員全体で共有・検討されています。リスクマネジメント実施状況に関する、評価見直しの仕組み確立が望まれます。 | |
| Ⅲ-1-(5)-② | 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a |
| (コメント) | 環境整備に留意し、感染症発生時のマニュアルが設置されています。個別感染症発生時の研修も実施されています。 | |
| Ⅲ-1-(5)-③ | 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。 | b |
| (コメント) | 毎月の訓練実施後は、課題や改善できる余地がないかの振り返りが行われており、実際に改善策を実行してみる事で、検証と検討が行われています。飲料水・食料・衛生消耗品・備品等の備蓄が準備されています。災害時の安否確認手法の拡充が望まれます。 | |

評価結果

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

| | | |
|-----------|--|---|
| Ⅲ-2-(1)-① | 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。 | b |
| (コメント) | リスク対応・防止対策を中心としたマニュアルが策定されています。狙いや目的の明確化が望まれます。 | |
| Ⅲ-2-(1)-② | 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | b |
| (コメント) | 事例等を踏まえ、必要に応じた随時の見直し・改訂が行われています。定期的な仕組みとしての確立が望まれます。 | |

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。 **b**

(コメント) 子どもの発達・発育状況を踏まえた保育の展開となるよう努められています。保護者等の意向の計画への明示が望まれます。

Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。 **b**

(コメント) 計画の進行状況を踏まえた、計画の変更が行われています。仕組みとしての評価見直しの整備拡充が望まれます。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 **b**

(コメント) 記載内容は、出来事記録にならない様に留意し、職員に対する指導が行われています。計画に対する進捗状況の記録拡充が望まれます

Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。 **b**

(コメント) 個人情報の取り扱いについては、漏洩等ないように、管理方法と取り扱いに留意されています。改正個人情報保護法に準拠した、規程や記録の整備拡充が望まれます。

児童福祉分野【保育所】の内容評価基準

| | | 評価結果 |
|---------------------------------|---|------|
| A-1 保育内容 | | |
| A-1- (1) 全体的な計画の作成 | | |
| A-1- (1) -① | 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | b |
| (コメント) | 法人方針と園の方針を踏まえた、全体的な計画策定に努められています。全体的な計画に紐づく具体的な計画との連続性・整合性の向上が望まれます。 | |
| A-1- (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 | | |
| A-1- (2) -① | 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 | b |
| (コメント) | 温度・湿度・換気・清潔保持に留意し、快適な保育環境となるよう努められています。子どもの以後期や活動にあわせたスペース確保や空間作りにも留意されています。 | |
| A-1- (2) -② | 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | a |
| (コメント) | 発語が困難な子どもには、見つめ合い表情や仕草を読み取ることで、子どもを受け止めることができるよう配慮されています。子どもの発言には否定せず、受け止めた上で、子どもの発語に繋がられる言葉がけができるよう留意されています。個々の子どもを受け止め、向き合うことで、愛着関係と信頼関係の形成に繋がられるよう努められています。 | |
| A-1- (2) -③ | 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 | a |
| (コメント) | 一緒にする事から始め、子ども自身が自分で出来る、やろうとする意思を育み、出来る喜び、達成感から、自発的に生活習慣を習得できるよう配慮されています。子ども自身が興味を持てるアプローチや導入で、子どもがやってみようという意思を育むことを大切にされています。 | |
| A-1- (2) -④ | 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | a |
| (コメント) | 子ども自身の、やってみよう、やりたいという思いを大切に、子ども自身が主体的に遊びや行動を選んで取り組めるよう配慮されています。戸外活動では、自然に触れる機会を設け、季節や植物を感じ、理解できるように留意されています。また、周囲の人との交流や言葉がけ等、社会とかわる機会も確保されています。 | |
| A-1- (2) -⑤ | 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| (コメント) | 0歳児では、子どもとのスキンシップを大切に、子どもに安心感を与えられる、愛着関係と信頼関係の形成に繋がられるよう努められています。子どもにわかりやすい言葉がけを行い、動作を伴ってコミュニケーションを取ることによって、子どもの思いに沿ったかわり方に繋がられるよう留意されています。家庭との情報交換・情報共有を大切に、個々の子どもに沿った育みとなるよう配慮されています。 | |

| | |
|--|---|
| A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| (コメント) 1・2歳児では、子どもの発語や意思表示を促し、習得できるような声かけや、かかわり方に留意した支援の提供に努められています。制止ではなく、子どもの思いや意思を踏まえ、声かけを大切にされています。個々の子どもの発達発育状況を踏まえ、子どもの状況に応じた、生活習慣の習得、食事の提供に配慮されています。 | |
| A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | — |
| (コメント) 【非該当項目】 小規模保育事業であるため対象年齢の定員設定がありません。 | |
| A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | b |
| (コメント) 子どもの動作やこだわりを、強制したりただそうとするのではなく、子ども自身の気持ちや状況を尊重し、原因の探求を基に、個々の子どもに必要なかかわり方や接し方に配慮されています。配慮の必要性を感じた場合は、職員間で情報を共有し、原因を検討し、対応法の検討が行われています。該当する子どもの有無にかかわらず、継続的な、保護者等全体に対する、啓発や情報提供の整備拡充が望まれます。 | |
| A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| (コメント) 在園時間が長時間に及ぶ子どもには、子どもが飽きたり、寂しさを感じないように、活動や遊びの順番や展開に配慮されています。 | |
| A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | — |
| (コメント) 【非該当項目】 小規模保育事業であるため対象年齢の定員設定がありません。 | |
| A-1-(3) 健康管理 | |
| A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。 | a |
| (コメント) 連携園の看護師からのアドバイスや情報提供を、園内で活用されています。毎月保健便りが発行されており、発行時期折々の健康上の配慮点や季節の感染症等の情報提供が行われています。保護者等が受診される際、医療機関への情報提供に繋がるよう、園内の感染状況等はリアルタイムで発信できるよう配慮されています。定期健診や予防接種接種状況は、定期的に確認し、状況確認と現状把握が出来るよう努められています。 | |
| A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。 | a |
| (コメント) 健診前には、保護者等に気になることや症状等の情報提供をお願いし、検診時に活用できるよう配慮されています。健診結果は保護者等に周知されています。 | |
| A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a |
| (コメント) アレルギー対応で除去食を提供する際は、配置や職員のかかわり方に留意し、子ども自身が疎外感や寂しさを感じないように配慮されています。アレルギーのある子どもに対しては、保護者との連携を密にし、家庭での食事の様子や内容も把握しながら、家庭と協働で取り組めるよう努められています。アレルギーに関する外部研修の内容は、園内で共有され、知識と対応の拡充に努められています。 | |

| | |
|---|--|
| A-1-(4) 食事 | |
| A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | a |
| (コメント) | 子どもたちが集中力を保持できる時間を踏まえ、集中して楽しく完食できる食事時間の構成に配慮されています。完食できる達成感から、おかわりへの意思や喜びを持てるよう、また、子ども同士が完食を目指して、お互いに良い刺激となるようなかわりに留意されています。形態を変えて提供することにより、食材の説明や特性を、新たな発見として習得できるよう努められています。 |
| A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a |
| (コメント) | 栄養士が、子どもの食事にも直接関与し、子どもたちの食べている様子や、直接の声を聞くことで、献立や提供方法への反映できるよう努められています。季節や行事を意識した献立や、食材を活用し、時には子ども自身も食材に触れる機会を確保する等、食への興味や理解を深められるよう配慮されています。 |

| | |
|--|-------------|
| | 評価結果 |
|--|-------------|

| | |
|--|---|
| A-2 子育て支援 | |
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携 | |
| A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a |
| (コメント) | 保護者の不安や悩み等に留意し、気軽に相談できる雰囲気大切にされています。日常の連絡帳による情報交換・情報共有や、送迎時の会話等から、家庭と園が共通した認識で子どもに接することが出来るよう努められています。養育に関する情報を共有し、園と家庭が協力しながら子どもにかかわってけるよう留意されています。 |
| A-2-(2) 保護者等の支援 | |
| A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | a |
| (コメント) | 子どもの様子や言葉を踏まえ必要性を感じた場合は、保護者に対して必要な情報提供や啓発、相談対応に繋がられています。事例を基に、職員間で事例に対する原因の探求や検討を行い、保護者支援にも繋がられるよう努められています。違和感や異変を感じた場合は、配慮した声かけを行う等、抱え込んだり自己等に繋がる事がないよう配慮されています。 |
| A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a |
| (コメント) | 受け入れ時や保育中、子どもの異変や異常に留意し、被虐の発見や予防に繋がられるよう努められています。 |

| | |
|--|-------------|
| | 評価結果 |
|--|-------------|

| | |
|---|---|
| A-3 保育の質の向上 | |
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） | |
| A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | b |
| (コメント) | 個々の職員が自己評価表を記載し、上長との面談が行われています。職員個々の、客観的に評価可能な具体的な目標設定と、それに対する評価が望まれます。 |

| | | 評価結果 |
|---------------------|---|------|
| A-4 子どもの発達・生活援助 | | |
| A-4-(1) 子どもの発達・生活援助 | | |
| A-4-(1)-① | 体罰等子どもへの不適切な対応が行われないう、防止と早期発見に取り組んでいる。 | a |
| (コメント) | 小規模保育事業であるため、常に職員同士や上職が、職員を見渡せる状況にあり、違和感を感じた場合等は、速やかにフォローに入ったり交代する等、不適切な対応に繋がらないよう努められています。 | |

利用者(子ども)への聞き取り等の結果

調査の概要

| | |
|--------|---|
| 調査対象者 | |
| 調査対象者数 | 人 |
| 調査方法 | |

利用者への聞き取り等の結果（概要）

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、園児直接のヒアリングは実施を見合わせております。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

| | |
|--------|---|
| 調査対象者 | 全園児の保護者等 |
| 調査対象者数 | 有効回答数 5 人 |
| 調査方法 | 全園児の保護者等に対し、大阪府参考様式項目のアンケート用紙・返信用封筒を配布し、保護者等から直接、評価期間宛返送にて収集。 |

利用者への聞き取り等の結果（概要）

アンケートの設問は、大阪府参考様式の項目を基に、配布実施しました。

【選択回答内容より推測される傾向】

概ねの保護者等が満足を感じられています。

【利用者自由記述内容抜粋】

とても丁寧に対応してもらえる。少人数制なので目が行き届きやすい。
先生とのコミュニケーションが取りやすい。いろいろな体験をさせてもらえる。
給食やおやつが手作りで安心。追加料金なしで英語のレッスンがある。
園庭はないが散歩によく行ってくれる。手厚く見てもらえる。
親の不安に寄り添ってくれる。日々持参するものが少ない。
子供の成長を感じられる。十分満足している。
とても手厚く対応頂いていると感じる。自信をもってほかの人にもお勧めできる

【総括】

小規模保育事業であるため設定定員が少なく、有効回答数から統計的な判断とコメントは困難ですが、いずれの保護者等からも、満足度の高い記述解答が得られています。

福祉サービス第三者評価結果報告書【受審施設・事業所情報】 における項目の定義等について

①【職員・従業員数】

●以下の項目について、雇用形態（施設・事業所における呼称による分類）による区分で記載しています。

▶正規の職員・従業員

・一般職員や正社員などと呼ばれている人の人数。

▶非正規の職員・従業員

・パート、アルバイト、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員、嘱託などと呼ばれている人の人数。

②【専門職員】

●社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、訪問介護員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、社会福祉主事、医師、薬剤師、看護師、准看護師、保健師、栄養士等の福祉・保健・医療に関するものについて、専門職名及びその人数を記載しています。

③【施設・設備の概要】

●施設・設備の概要（居室の種類、その数及び居室以外の設備等の種類、その数）について記載しています。特に、特徴的なもの、施設・事業所が利用される方等にアピールしたい居室及び設備等を優先的に記載しています。併せて、【施設・事業所の特徴的な取組】の欄にも記載している場合があります。

| | 例 |
|-----|---|
| 居室 | ●個室、2人部屋、3人部屋、4人部屋 等 |
| 設備等 | ●保育室（0才児、1才児、2才児、3才児、4才児、5才児）、調乳室、洗面室、浴室、調理室、更衣室、医務室、機能訓練室、講堂 等 |